

普及現地情報



発信年月日：令和6年(2024年)6月12日
所属名：東近江農産普及課西部
番号：E24001
部門分類：120(麦・豆・雑穀)
発信者名：田中豊、岡本、大角、他

「令和6年度『大豆栽培技術研修会』を開催

5月21日、管内の大豆生産者を対象に排水対策を基本とした栽培技術や、近年問題となっている難防除雑草対策など、大豆の収量・品質改善に向けた研修会を東近江地域農業センターと連携して五個荘コミュニティセンターで開催しました。当日は、農業者や関係機関から約100名の参加がありました。

東近江地域では、大豆の播種時期が梅雨期と重なることや栽培期間中の大雨や長雨による湿害、難防除雑草の発生といった課題を抱えています。そこで、排水対策の徹底や雑草対策などの基本技術の励行が重要となります。

研修会では、農研機構中日本農業研究センター水田利用研究領域の大野氏から、土壌条件に応じた排水対策の選択や畝立て播種技術、雑草対策の基本について講演いただきました。

その後、当課から、令和4年度と令和5年度に普及活動として取り組んだ除草剤体系処理の導入事例について紹介しました。

参加者は熱心に聴講され、除草剤処理体系の詳細についての質問が複数出るなど、近年大きな問題となっている雑草の対策への関心の高さがうかがわれました。

当課では、引き続き関係機関と連携し、大豆の収量・品質の高位安定化に向けて支援していきます。



図1 農研機構大野氏の講演



図2 当課からの事例紹介